

北海道の一体的実施②

平成25年1月29日事業開始

「北海道わかもの就職応援センター（愛称：みらいっぽ）」を設置し、ジョブカフェ北海道とヤングハローワーク札幌における若年者に対する就職支援を一体的・総合的に実施

北海道

カウンセリング、各種情報提供等



国

職業相談・職業紹介の実施等

① 事業内容

- ・キャリアカウンセリング、適職診断
- ・各種セミナーの開催
- ・職業相談・紹介、求人受理
- ・職業意識形成支援

② 協定・事業計画

- ・北海道知事と北海道労働局長の間で協定^(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を北海道と北海道労働局の間で策定

* 協定の実施等について北海道知事及び北海道労働局長は、相互に要請することができ、要請に誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・北海道知事、北海道労働局長を構成員とする運営協議会を設置。



両施設を一体的に運営することにより、若年者に対する就職支援サービスをワンストップで行う。

(1) 実施体制

北海道

ジョブカフェ北海道

- スタッフ 20名
 - ・センター長
 - ・統括マネージャー
 - ・カウンセラー
 - ・コーディネーター

国

ヤングハローワーク札幌

- 職員・相談員 44名
 - ・職員
 - ・学卒ジョブサポート
 - ・就職支援ナビゲーター
 - ・職業相談員
- 求人情報提供端末17台、職業紹介端末18台を配置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

	平成25年度事業目標	取組状況
利用者の就職数	6, 500人	平成26年3月末実績 6, 118人 (平成24年度実績 991人)

一体的実施事業による就職成功例

女性：26歳 希望職種：事務職（資格等：全経簿記2級・ITパスポート等）
※正社員経験なし

① YHWでの相談

- 専門学校卒業後、事務職の臨時職員等（6ヶ月～最長1年）を数か所で経験。正社員希望。
- 希望条件（職種・場所・時間・給与）の見直し
- 人間関係の構築・仕事を継続する方法

② JCでの相談

- 専門学校を卒業後、臨時職員等短期の仕事を繰り返している。
- 学校では医療事務を学んだが、今後は一般事務を希望。
- 希望職種、雇用形態の変更等、転職を成功させる方法
- アピール方法と仕事を継続させる方法

③ みらいっぽ ケース会議

- 求職条件が高い（勤務地、職場環境、研修制度、勤務時間への強いこだわり）
- コミュニケーション能力が低く、集中力・持続力も低い（人間関係の構築、職務に対する不安）

④ 支援の分担

YHW

- 書類添削、しごとクラブへの誘導
- 求職条件の見直し、求人情報の提供

JC

- 面接トレーニングの実施
- キャリアカウンセリング（自己分析等）

⑤ 結 果

- 事務職として契約社員での就職（HW紹介）が決定。 ※支援期間11ヶ月半

⑥ ハローワーク担当者の所感

- 本人の就労意欲が強く、多少条件面を見直しながらも、応募・来所を積極的に行っていました。また、明るい人柄を伝え、未経験の総務・経理に関しては素直に頑張りたいと面接官に伝えたことが採用に繋がったと思われる。

⑦ 本人のコメント（再就職後）

- 事務職は難しいと思い、他職種を考えた矢先に勤務地・給与等ほぼ理想どおりの職場に就職することが出来ました。